

教育長メッセージ

本県における新型コロナウイルス感染症の感染状況は、全国においても過去に経験のないような拡大局面にあり非常に厳しく、収束の兆しが見えず、医療提供機関のひっ迫を引き起こすなど、危機的な状況が続いていることから、今回、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部から県立学校に対して休校措置の要請がありました。

学校においても児童生徒の感染者数も増えており、学級閉鎖も増加傾向にあります。

県教育委員会では、これまで時差登校や分散登校等を実施し、感染症対策と学びの保障の両立を図ってきましたが、子どもたちの健康と安全を守ると同時に、人と人との接触機会を徹底的に低減し、県全体の感染拡大を抑止するためには、臨時休校はやむを得ないと判断し、県立学校を令和3年6月7日から6月20日までの期間、原則、臨時休校とすることを決定いたしました。

幼児児童生徒の皆さんは、今回の臨時休校は、新型コロナウイルス感染症の拡大を止める目的で行っていることを理解し、不要不急の外出を避け、自宅で過ごすよう心がけてください。また、自宅でも、感染症対策を徹底するとともに、学校の再開に備えて、宿題や自学自習に励んでください。

保護者の皆様におかれましては、学校の臨時休校で大変ご苦勞をおかけするとは存じますが、今回の休校措置は苦渋の判断であることをご理解いただき、臨時休校中はもとより、その後の生活においてもご協力くださいますよう、お願いいたします。

また県民の皆様におかれましても、ご自身や子ども達を守るためにも外出及び接触機会の徹底的な削減に努めていただき、学校が一日でも早く正常な教育活動に戻れるよう、感染症対策のさらなる徹底にご協力をお願いいたします。

令和3年6月4日（金）
沖縄県教育委員会
教育長 金城 弘昌